

ニッセイ A I 関連株式ファンド

(年2回決算型・為替ヘッジあり)/(年2回決算型・為替ヘッジなし)

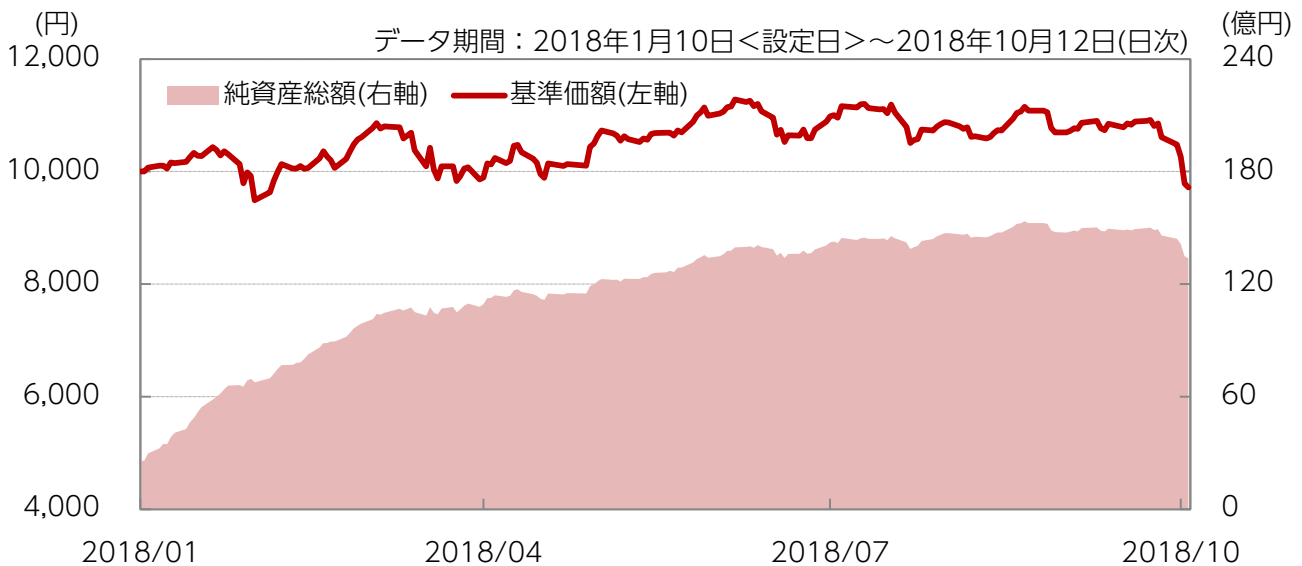
愛称：A I 革命(年2・為替ヘッジあり)/(年2・為替ヘッジなし)

足元の運用状況と投資環境について

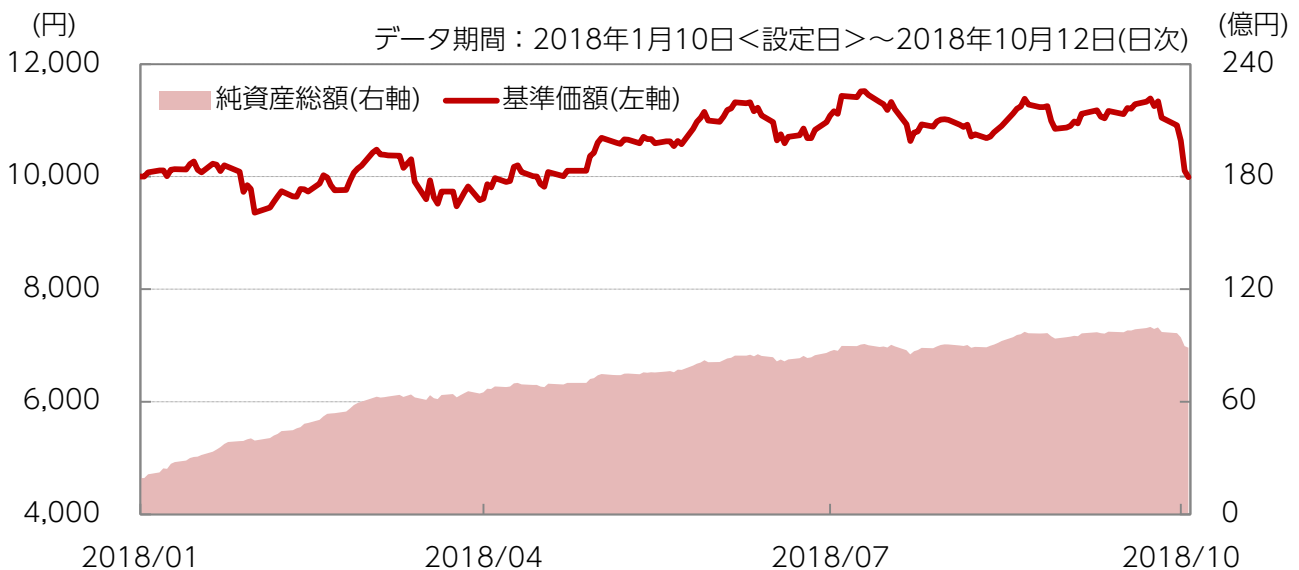
- 米国の長期金利の上昇や米中貿易摩擦に対する懸念の高まりなどから、世界的に株式市場は大幅に下落、当ファンドの基準価額も水準を切り下げています。
- AI(人工知能)関連企業が多く含まれる情報技術セクターのPER(株価収益率)に割高感はなく、業績の大幅拡大も見込まれることから、中長期的には反転・上昇が期待されます。

基準価額等の推移について (2018年10月12日現在)

AI革命(年2・為替ヘッジあり)：基準価額・純資産の推移



AI革命(年2・為替ヘッジなし)：基準価額・純資産の推移



上記は過去の実績であり、将来の運用成果等を保証するものではありません。

米国に端を発した株価下落が世界各国に連鎖

米中の貿易摩擦が激化するなか、米国では10月に入り、景気拡大を示す経済指標を受け10年国債利回りが一時は3.2%台にまで上昇しました。金利上昇にともない資金調達費用がかさみ、企業業績の悪化要因になるとの懸念が高まったことなどが嫌気され、ダウ工業株30種平均は10日に前日比831ドル安と急落しました。

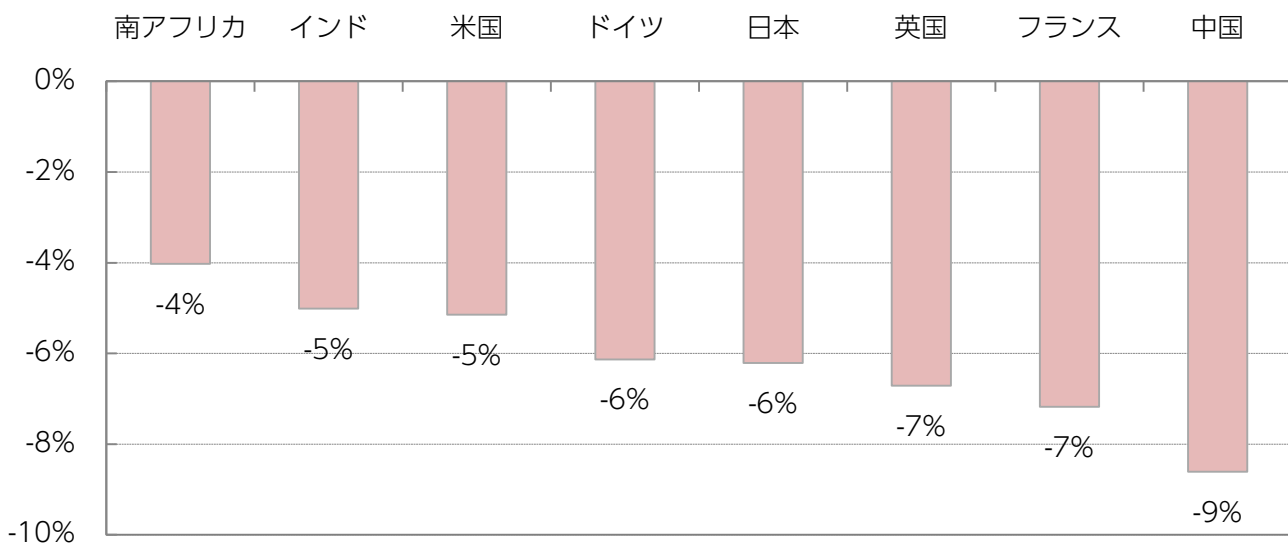
米国に端を発した株価下落は世界各国に連鎖し、株式市場では値動きの荒い展開が続いています。

米国 10年国債利回りと株価の推移



出所)ブルームバーグのデータをもとにニッセイアセットマネジメント作成
データ期間：2017年12月29日～2018年10月12日(日次)

2018年10月12日現在 株価騰落率(前月末比)



出所)Factsetのデータをもとにニッセイアセットマネジメント作成
上記はMSCI AC Worldインデックスをもとに主な国の株価騰落率(現地通貨ベース)を示したものです。

情報技術セクターの動向

値動きが大きな展開が続く株式市場ですが、AI関連企業が多く含まれる情報技術セクターについて、代表的なバリュエーション指標であるPER(株価収益率)を確認すると、足元の水準は1995年以降の平均値を下回っており、割高感はありません。また、企業業績についても大幅な拡大が見込まれており、中長期的には株価の反転・上昇が期待されます。

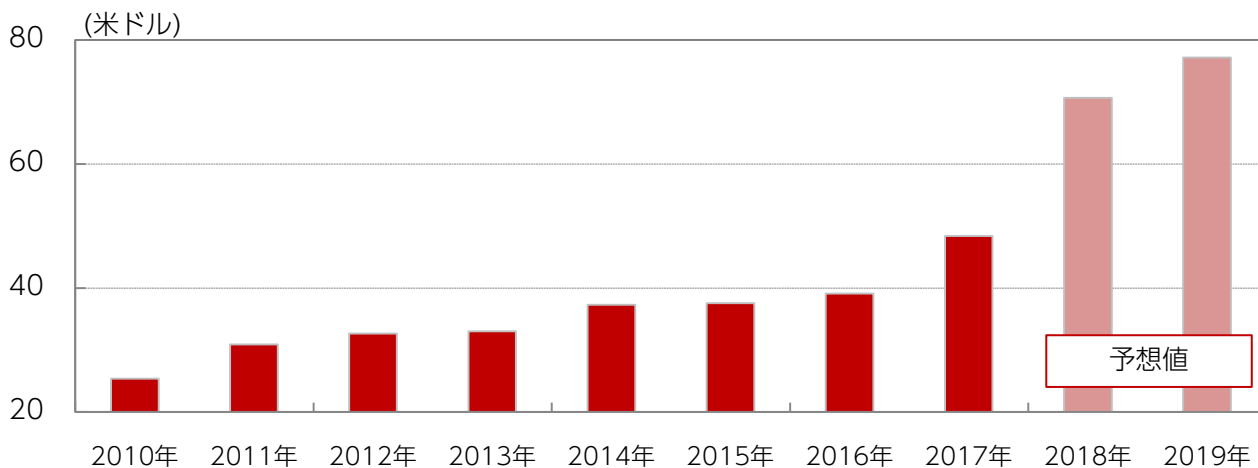
引き続き、AI分野に深い知見を有するTCWアセット・マネジメント・カンパニーが徹底したファンダメンタル・リサーチを通して、魅力的なAI関連銘柄を発掘することにより、信託財産の中長期的な成長をめざしてまいります。

情報技術セクター 指数と予想PERの推移



出所)ブルームバークのデータをもとにニッセイアセットマネジメント作成
 情報技術セクター指数(S&P500業種別指数)は1995年1月6日を100として指数化
 平均値は1995年1月6日～2018年10月12日(週次)の平均

情報技術セクター EPS(1株当り純利益)の推移



出所)ブルームバークのデータをもとにニッセイアセットマネジメント作成
 EPS(1株当り純利益)の2018年以降は予想値(2018年10月現在のブルームバーク集計値)。

当ファンドの組入銘柄について

当ファンドでは、TCWアセット・マネジメント・カンパニーが日本を含む世界各国の株式の中から組入銘柄を厳選します。

組入上位10銘柄のEPS成長率をみると、いずれも大幅な拡大が見込まれています。

組入上位10銘柄

銘柄名	国	比率	前決算期 EPS (米ドル)	今決算期 予想EPS (米ドル)	EPS 成長率 (前期～今期)
フェイスブック	アメリカ	4.2%	6.16	8.12	32%
エヌビディア	アメリカ	4.1%	4.63	7.98	72%
アマゾン・ドット・コム	アメリカ	4.1%	4.56	26.66	485%
サービスナウ	アメリカ	3.8%	-0.86	2.33	-
マイクロソフト	アメリカ	3.8%	3.67	4.30	17%
セールスフォース・ドットコム	アメリカ	3.5%	0.17	2.51	1,372%
アルファベット (A)	アメリカ	3.5%	33.72	50.10	49%
アドビ・システムズ	アメリカ	3.5%	3.37	6.82	103%
スプラנק	アメリカ	3.2%	-2.11	1.10	-
インテル	アメリカ	2.5%	2.50	4.15	66%

出所)ブルームバーグのデータをもとにニッセイアセットマネジメント作成

EPS(1株当り純利益)の予想値は2018年10月現在のブルームバーグ集計値

上記は、当ファンドが主に投資対象とする「TCWファンズⅡ-TCWグローバルAI株式ファンド」の2018年8月末時点の状況を表示しており、TCWアセット・マネジメント・カンパニーの資料(現地月末前営業日基準)に基づきニッセイアセットマネジメントが作成しています。上記の比率は対組入株式等評価額比。

ファンドの特色

- ①日本を含む世界各国の株式の中から、主にAI(人工知能)関連企業の株式に投資を行います。
- ②株式の運用は、TCWアセット・マネジメント・カンパニーが行います。
- ③「為替ヘッジあり」と「為替ヘッジなし」の2つのファンドから選択いただけます。
- ④年2回(毎年4・10月の各25日。休業日の場合は翌営業日)決算を行い、分配金をお支払いすることをめざします。

※将来の分配金の支払いおよび水準について、保証するものではありません。

投資リスク

※ご購入に際しては、投資信託説明書(交付目論見書)の内容を十分にお読みください。

基準価額の変動要因

- ファンド(指定投資信託証券を含みます)は、値動きのある有価証券等(外貨建資産には為替変動リスクもあります)に投資しますので、基準価額は変動します。したがって、投資元本を割込むことがあります。
- ファンドは、預貯金とは異なり、投資元本および利回りの保証はありません。運用成果(損益)はすべて投資者の皆様のもとなりますので、ファンドのリスクを十分にご認識ください。**

主な変動要因

株式投資リスク	株式は国内および国際的な景気、経済、社会情勢の変化等の影響を受け、また業績悪化(倒産に至る場合も含む)等により、価格が下落することがあります。
為替変動リスク	<p>〈為替ヘッジあり〉</p> <p>外貨建資産については、原則として対円での為替ヘッジを行い為替変動リスクの低減を図ります。ただし、為替ヘッジを完全に行うことができないとは限らないため、外貨の為替変動の影響を受ける場合があります。また、円の金利が為替ヘッジを行う当該外貨の金利より低い場合などには、ヘッジコストが発生することがあります。</p> <p>〈為替ヘッジなし〉</p> <p>外貨建資産については、原則として対円での為替ヘッジを行わないため、為替変動の影響を直接的に受けます。一般に円高局面ではファンドの資産価値が減少します。</p>
カントリーリスク	外国の資産に投資するため、各国の政治・経済情勢、外国為替規制、資本規制等による影響を受け、ファンドの資産価値が減少する可能性があります。
流動性リスク	市場規模が小さいまたは取引量が少ない場合、市場実勢から予期される時期または価格で取引が行えず、損失を被る可能性があります。

ご留意いただきたい事項

- 投資信託はリスクを含む商品であり、運用実績は市場環境等により変動し、運用成果(損益)はすべて投資者の皆様のもとなります。投資元本および利回りが保証された商品ではありません。
- 当資料はニッセイアセットマネジメントが作成したものです。ご購入に際しては、販売会社よりお渡しする投資信託説明書(交付目論見書)、契約締結前交付書面等(目論見書補完書面を含む)の内容を十分にお読みになり、ご自身でご判断ください。
- 投資信託は保険契約や金融機関の預金ではなく、保険契約者保護機構、預金保険の対象とはなりません。証券会社以外の金融機関で購入された投資信託は、投資者保護基金の支払対象にはなりません。
- 分配金は、預貯金の利息とは異なり、ファンドの信託財産から支払われますので、分配金が支払われると、その金額相当分、基準価額は下がります。
- 分配金は、計算期間中に発生した収益(経費控除後の配当等収益および評価益を含む売買益)を超えて支払われる場合があります。その場合、当期決算日の基準価額は前期決算日と比べて下落することになります。また、分配金の水準は、必ずしも計算期間におけるファンドの収益率を示すものではありません。
- 受益者のファンドの購入価額によっては、支払われる分配金の一部または全部が実質的に元本の一部払戻しに相当する場合があります。ファンド購入後の運用状況により、分配金額より基準価額の値上がり小さかった場合も同様です。
- 当資料にインデックス・統計資料等が記載される場合、それらの知的所有権その他の一切の権利は、その発行者および許諾者に帰属します。
- S&P各種指数に関する著作権、知的所有権その他の権利はS&Pダウ・ジョーンズ・インデックスに帰属します。S&Pダウ・ジョーンズ・インデックスは同社が公表する各指数またはそれに含まれるデータの正確性あるいは完全性を保証するものではなく、また同社が公表する各指数またはそれに含まれるデータを利用した結果生じた事項に関して保証等の責任を負うものではありません。
- MSCI各種指数は、MSCI Inc. が公表している指数です。同指数に関する著作権、知的財産権、その他一切の権利はMSCI Inc. に帰属します。また、MSCI Inc. は同指数の内容を変更する権利および公表を停止する権利を有しています。

ファンドの費用

投資者が直接的に負担する費用

購入時	購入時手数料 (1万口当り)	購入申込受付日の翌営業日の基準価額に 3.24%(税抜3.0%)を上限 として販売会社が独自に定める率をかけた額とします。 ※ 料率は変更となる場合があります。詳しくは販売会社にお問合せください。
換金時	信託財産留保額	ありません。

投資者が信託財産で間接的に負担する費用

毎日	運用管理費用 (信託報酬)	ファンドの純資産総額に年率1.269%(税抜1.175%)をかけた額とし、ファンドからご負担いただきます。	
		投資対象とする 外国投資信託証券	年率0.6%程度
	実質的な負担	ファンドの純資産総額に 年率1.869%(税込)程度 をかけた額となります。	
	監査費用	ファンドの純資産総額に年率0.0108%(税抜0.01%)をかけた額を上限とし、ファンドからご負担いただきます。	
随時	その他の費用・ 手数料	組入有価証券の売買委託手数料、信託事務の諸費用および借入金の利息等はファンドからご負担いただきます。これらの費用は運用状況等により変動するため、事前に料率・上限額等を記載することはできません。	

- ❗ 当該費用の合計額、その上限額および計算方法は、運用状況および受益者の保有期間等により異なるため、事前に記載することはできません。
- ❗ 詳しくは、投資信託説明書(交付目論見書)をご覧ください。

委託会社【ファンドの運用の指図を行います】	ファンドに関するお問合せ先
ニッセイアセットマネジメント株式会社 金融商品取引業者登録番号 関東財務局長(金商)第369号 加入協会：一般社団法人投資信託協会 一般社団法人日本投資顧問業協会	ニッセイアセットマネジメント株式会社 コールセンター：0120-762-506 (午前9時～午後5時 土、日、祝祭日は除きます) ホームページ： https://www.nam.co.jp/
受託会社【ファンドの財産の保管および管理を行います】	
三菱UFJ信託銀行株式会社	

取扱販売会社一覧

※販売会社は今後変更となる場合があります。また、販売会社によっては、新規のお申込みを停止している場合もあります。
詳しくは、販売会社または委託会社の照会先までお問合せください。

取扱販売会社名	登録金融機関		登録番号	日本証券業協会	一般社団法人日本投資顧問業協会	一般社団法人金融先物取引業協会	一般社団法人第一種金融商品取引業協会	取扱販売会社名	登録金融機関		登録番号	日本証券業協会	一般社団法人日本投資顧問業協会	一般社団法人金融先物取引業協会	一般社団法人第一種金融商品取引業協会
	金融商品取引業者	登録金融機関							金融商品取引業者	登録金融機関					
岩井コスモ証券株式会社	○		近畿財務局長(金商)第15号	○				株式会社しん証券さかもと	○		北陸財務局長(金商)第5号	○			
エイチ・エス証券株式会社	○		関東財務局長(金商)第35号	○				高木証券株式会社	○		近畿財務局長(金商)第20号	○			
エース証券株式会社	○		近畿財務局長(金商)第6号	○				ニュース証券株式会社(※1)	○		関東財務局長(金商)第138号	○	○		
株式会社SBI証券	○		関東財務局長(金商)第44号	○		○	○	丸八証券株式会社	○		東海財務局長(金商)第20号	○			
FFG証券株式会社	○		福岡財務支局長(金商)第5号	○				楽天証券株式会社	○		関東財務局長(金商)第195号	○	○	○	○

(※1) 「為替ヘッジなし」のみのお取扱いとなります。